

特42

456

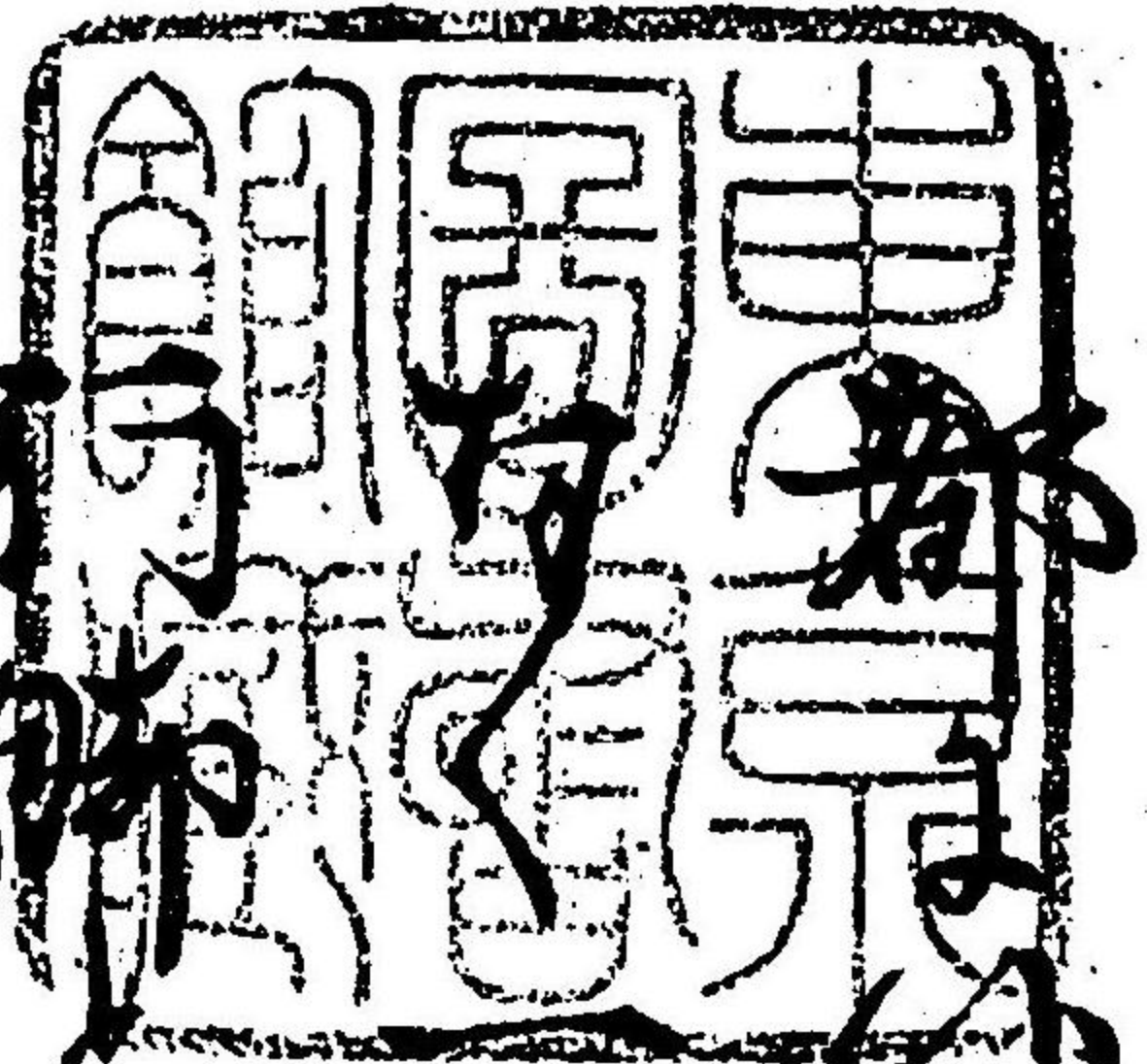
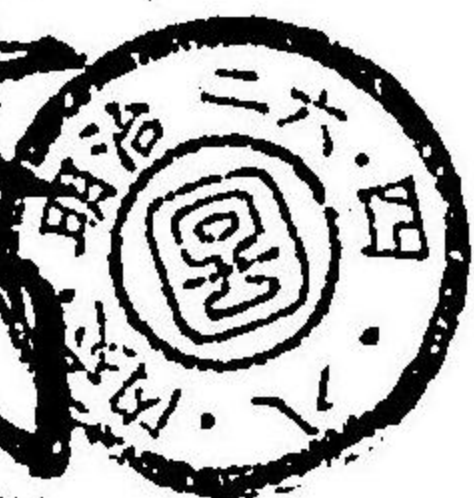
正訂
觀世流強内百拾番

杜
若

24

杜若

是ハ諸國一見ハ僧アテハ我此國ハ



見ハテシ又是より東國

行脚志願クテアテハ此ノ地ニ

宿マシテハ此ノ地ニ宿スル

テハ此ノ地ニ宿スル

テハ此ノ地ニ宿スル

杜若

峯の区に於ては三つに國を分ちて

あつて國を分ちては美しきものなり

ては美しきものなりと云ふは

美しきものなりと云ふは

美しきものなりと云ふは

美しきものなりと云ふは

美しきものなりと云ふは

具はよきものなりと云ふは 別入諸

國一見入者なりと云ふは 杜若の面白

詠をては梅實なりと云ふは

別社三つに國を分ちて 杜若の名可

きものなりと云ふは 此杜若の面白

名前も美しきものなりと云ふは

別社三つに國を分ちて 杜若の名可

女 心もほの真風はつ吹く風のち
女 けりて 國こくを多き花をとり
女 花の葉もて 思おもひの橋の
女 三つつの涙は花はなのちりて 花
女 きれの 思おもひのちりて
女 美うたの葉平なむれ 花のたき

女 今いまの身みは 上かみの 花はなのたき
女 花の葉はなのちりて 葉の
女 人ひとの橋はしのちりて 思おもひの今
女 花も様さま人ひとの昔むかしの語ことばのまのち
女 花のちりて 思おもひのちりて
女 花のちりて 思おもひのちりて
女 花のちりて 思おもひのちりて
女 花のちりて 思おもひのちりて

^軍 意妹^一や傾てま^一女^一あ^一く
 此冠唐ま^一あ^一流^一女^一あ^一く
 賄^一ま^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 衣^一ま^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 女^一あ^一く^一あ^一く^一あ^一く
 是^一杜若^一ま^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 兵^一の^一あ^一く^一あ^一く^一あ^一く

女^一あ^一く^一あ^一く^一あ^一く
 形見^一の^一冠唐^一衣^一ま^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 冠^一あ^一く^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 女^一あ^一く^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 植^一ま^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 女^一あ^一く^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く
 葉^一平^一の^一あ^一く^一あ^一の^一あ^一く^一あ^一く

夢を讀むてくわのまの終るへしは皆

法身親しき妙文ある草花をばも

露の恵の松葉の縁はくはぬあや

氣の束の事物に正しき非精の

あまよひ詞をからひ法のき 佛の

あとも業卒の音男の舞のすい

是る則ちの業層の 候の

と業卒の 本地舞の初とちく

普く海度 利はし 道よりく

まめから衣くまづも舞をある

らん ちまきり 法のうらまの唐衣

都よみさきや 柳下此お語多

いづれ人の行もよまじく思ひ露

のまよひ思ひく踊る首まきの様も

あく終りも奇 ↑ 昔家方カ冠

きく大妻良の京ま身まままきんきん

しつかりよかよきり 仁明天皇の御

かきよいもくし初とうきで

内山の妻震だつちほ生の初めつる

春自はるの冬入初はははとてまきまきき

の冠とけらけら ↑ 君入惠のあふ

故殿ことのとまくれ先服さきのりのり當街あつち其例

稀まある故ゆままううああつつとと申まししううや

妙た御ご共ご母は中ちゆうのの度た栄えいののたたんんきき

ぞぞううああるる御ごううのの誠まことああるるききんんああれ

ゆゆくく可かききももししてて東あづまの方かたよ

行雲ゆきぐものの表おもてももたたんんのの舞まいいききぬ

とみとみくくいいききんんああるる方かた入いるるきき

きよ浦（下）くも（下）入（下）後（下）の（下）ら
詠めしきハ信濃成（下）の（下）嶽（下）もた
ぐり煙（下）の（下）夕（下）暮（下）又（下）相（下）と（下）成（下）
津（下）岡（下）の（下）嶽（下）もた（下）り（下）ま（下）す（下）を（下）山（下）入（下）の（下）ま（下）
や（下）を（下）か（下）め（下）あ（下）と（下）ら（下）ま（下）さ（下）ひ（下）程（下）の（下）く（下）
核（下）良（下）三（下）河（下）國（下）も（下）あ（下）ら（下）う（下）の（下）蒸（下）ま（下）り（下）名（下）者（下）
ハ橋（下）入（下）は（下）馬（下）も（下）る（下）杜（下）も（下）様（下）の（下）雲（下）入（下）

いりあれし（下）ま（下）あ（下）も（下）と（下）ら（下）さ（下）ら（下）
都（下）人（下）総（下）る（下）よ（下）此（下）物（下）持（下）具（下）も（下）た（下）は（下）ま（下）り（下）
あ（下）ら（下）取（下）り（下）は（下）此（下）ハ（下）持（下）ち（下）三（下）河（下）の（下）水（下）の（下）煙（下）め（下）
あ（下）ら（下）蒸（下）一（下）人（下）の（下）か（下）ら（下）く（下）蒸（下）ら（下）と（下）り（下）
志（下）家（下）と（下）か（下）ら（下）う（下）人（下）も（下）ら（下）女（下）物（下）も（下）玉（下）簾（下）の（下）
あ（下）ら（下）も（下）し（下）下（下）り（下）ま（下）り（下）螢（下）の（下）雲（下）の（下）ま（下）り（下）
ぬ（下）つ（下）秋（下）の（下）吹（下）れ（下）候（下）も（下）あ（下）ら（下）う（下）の（下）ま（下）り（下）

度の秋下も下る下さ下き下る下人下の下園下
下の下め下の下頃下の下多下う下昔下手下月下も下あ下め
 藝下や下昔下の下春下あ下め下秋下を下う下ら下う下の下刻下
下子下と下し下て下今下を下受下ま下い下の下も下と下り下陰下陽下
下の下非下と下い下も下取下れ下も下の下業下平下の下の下そ下う下
下程下申下お下話下疑下も下せ下終下り下も下様下入下違下と
下あ下い下唐下衣下ま下り下也下舞下と下の下あ下り下と下

下花下前下蝶下も下ぬ下が下ん下た下る下ゆ下り下柳下
下と下の下園下裏下の下う下ら下り下た下る下入下ま下舞下植下直下
下昔下の下宮下の下の下の下た下ら下も下の下壁下色下の下り下り下昔下
下成下ま下り下ぐ下又下計下ら下う下け下た下る下雲下
下名下と下め下る下花下た下ら下も下の下の下言下ひ下ら下う下
下あ下め下の下ら下う下の下の下色下さ下き下ら下う下は下似下た下る下わ
下似下ら下ば下ら下花下あ下め下の下さ下う下さ下う下あ下く下ハ

下母...
 蟬の唐衣...
 雪のおも...
 りのあ...
 傍りの心...
 國去...
 成佛の法...

右之本者觀世大夫織部以章句
 真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町
 山本長兵衛

明治廿六年二月十七日印刷
 明治廿六年二月同日訂正出版
 明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢五厘

板權 所有

訂正者 觀世清廉

發行所 京都市上京區三條通御幸町
 檜常之助



